

平成30年度 おいらせ町将棋教室総評

講師 日本将棋連盟棋道指導員
高橋正道

◎今年度も子ども達は将棋教室の心得を大切にして、思い出をつくりました。4月はプロ棋士の佐藤秀司七段を迎え、八戸子ども将棋教室と交流会、11月は村山慈明七段に指導対局で教わりました。プロ棋士に直に教わる事ができて、素晴らしい体験でした。

夏の全国将棋祭りはイオンモール下田で子ども人間将棋が行われ、大勢の観客の前で駒役となり、「2六歩」「3四歩」と指し手に合わせ前後左右に移動し、プロ棋士と肩を並べて大活躍です。

同時にプロ棋士による脳内将棋のすごさには、ただただびっくりしました。行方尚史八段対深浦康市九段が盤を見ず“目隠し”で129手指し続け、白熱の攻防を繰り広げました。プロ棋士のすごさと、「勝負を最後まであきらめない」ことを学び、平成最後の夏休みの思い出となりました。

◎将棋共通講座では、将棋の礼儀作法を学びました。プロ棋士も「3つの礼」を大切にしています。

1. お願いします…ルールを守り、正々堂々と戦う誓いのことです。

2. 負けました…自分にウソをつかない、正直で美しいことばです。

3. ありがとうございます…楽しく指せてありがとう、感謝の気持ちです。

対局する時はあいさつを忘れずに、特に「負けました」は難しいあいさつです。くやしいけれど、いやにならず、引きずらず、次は頑張るぞ、という気持ちを持ってください。

◎おいらせ町は将棋のまち…感謝の気持ちが大切です。

おおやまやすはるじゅうごせいめいじん だいに こきょう ちょう おおやましようぎねんかん めいじん いたい そくせき
大山康晴十五世名人「第二の故郷」、おいらせ町の大山将棋記念館では、名人の偉大な足跡・銅像・遺品があり、全国に知られています。

館内の将棋ラウンジが子ども将棋教室の場になっています。空調完備、棋具そして指導陣も充実しています。町の教育行政が充実している証です。大山名人に見守られ、将棋を学べる

環境は日本一です。

子ども将棋教室は町長さんを始め全国将棋祭り実行委員会、教育委員会、小中高の学校の連携と、日本将棋連盟青森おいらせ支部、そして父兄の皆さんの協力で成り立っています。

関係者の皆さんと保護者の方々のご支援、ありがとうございました。

<内容>

共通講座	Aクラス
<p>●今年目標『元気』『友達を大切に』『楽しく続けよう』</p> <p>●将棋教室の心得</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 礼儀は正しく、挨拶は大きな声ではっきりと 2. 健康第一、生活は規律正しく 3. 将棋盤、駒など道具を大切に 4. 親・先生・教育委員会の人の言いつけは守ろう 5. いつも向上心を忘れず、努力を積み重ねよう <p>●将棋教室の注意事項…大山将棋記念館は、おいらせ町の貴重な宝物大切に利用すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 早め、早めの行動で遅刻はしない 2. 自転車置き場は、整理整頓 3. 館内の遺品、展示品、棋書は丁寧に扱う 4. 他人に迷惑をかけない 5. 泥靴に特に注意 	<p>◎得意な『戦法』を持つと強くなる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 勝負を有利に進める為の戦い方のことを戦法という 2. 戦法は序盤戦を戦う為には大事で、有利に戦い、勝利を掴む為必要 3. 1つていいから得意戦法を持つことは、プラス面がある 4. 戦法は振り飛車なら(四間飛車・中飛車・石田流)、居飛車なら(棒銀・矢倉)など沢山あるので、自分の好みにあった戦法を会得しよう <p>◎『読み』が分かれば将棋が2倍楽しい…『3～7手詰』の問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…礼儀正しく、マナーを守って、考えて指す</p>
<p>●プロ棋士による将棋教室&八戸子ども教室と交流会</p> <p>※八戸子ども教室の生徒を迎えて、親睦交流を図り、プロの先生に教わる</p>	<p>◎プロ棋士による将棋教室&八戸子ども教室と交流会</p> <p>八戸子ども教室の生徒を迎えて、親睦交流を図り、プロの先生に教わる</p>
<p>●『おいらせ町』は、全国に知られた将棋の町</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町には大山将棋記念館(王将館)があり、岡山県倉敷市にある大山将棋記念館(名人館)と提携して友好関係を結んでいる 2. 町長、教育長、町の関係者が将棋による町づくりを進めている 3. 青森おいらせ支部の会員の皆さんは、全面的に将棋の普及指導面で協力 4. 王将館の道場が将棋教室になって、そこで学べる生徒は良い環境で幸運 5. 年間を通して、全国将棋祭り・将棋大会・将棋教室が多数開催され、地域を越えて将棋愛好者が多数参加 6. プロ棋士を招き、指導対局・トークショー・将棋教室の講師をして頂く 	<p>◎得意な『戦法』を持つと強くなる…ゴキゲン中飛車戦法(振り飛車戦法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 振り飛車戦法は、飛車を初形の位置より5筋から左に振って戦う戦法 2. 角道を止めない、近年流行の中飛車(5筋)、5筋位取り作戦 3. この戦法は攻めに攻めて攻めまくる、常に『攻めの姿勢』の攻める振り飛車 4. 守りは『美濃固いの得意な人』に適している <p>◎『読み』が分かれば将棋が2倍楽しい…『3～7手詰』の問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…礼儀正しく、マナーを守って、考えて指す</p>
<p>●将棋は日本の伝統文化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 木の文化を考えてみると、日本の国(風土)は、春夏秋冬の四季がある 2. 特に雨雪が沢山降り、その為緑が多く、木・草花が美しい素敵な国 3. 将棋は木の文化と言われてきた、用具が木製品で作られている 4. 将棋盤は、かや・かつら・いちよう・ひばの木など 5. 駒は、つげ・いちよう・つばき・やなぎ・ほのおの木 6. ※ただし、プラスチック製品が近年使われるようになってきている 7. 徳川家康の江戸時代、二世名人大橋宗吉は将棋治式を制定し、ルールを完成させた 	<p>◎得意な『戦法』を持つと強くなる…四間飛車戦法(振り飛車戦法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 振り飛車の代表格は四間飛車、ぜひ覚えること 2. 戦法と囲いを組み合わせるのが基本、四間飛車には美濃固い・穴熊固い・銀冠固い 3. 駒組が簡単で人気の戦法、『玉の守りは金銀3枚』『玉と飛は反対側へ』『居玉は避けよ』の格言があるように基本が学べる 4. 攻めと守りのバランスが優れている <p>◎『読み』が分かれば将棋が2倍楽しい…『3～7手詰』の問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…礼儀正しく、マナーを守って、考えて指す</p>
<p>●将棋の上達法…現在の實力を出し切る、そこから上達が始まる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上達の速度は一人一人違う、努力の仕方によって違う 2. 一人一人の責任のゲーム 3. しかし、上達のチャンスは皆、平等にある 4. (1)『待った』はしない (2)『助言』はダメ、本人が考え中は口出ししない 5. (3)『反則手』は素直に認める 6. (4)駒はマス目にきちんと、持駒は駒台に置く、駒を手を持って握りしめたり、パチパチ叩いたりしない (5)感想戦をする (6)良い所・反省点をお互いに学ぶ 	<p>◎得意な『戦法』を持つと強くなる…矢倉戦法(居飛車戦法)※相居飛車</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 居飛車戦法は、飛車を初形の位置に置いたままで戦う戦法 2. 矢倉戦は矢倉固いでガッチリ、玉を固めて戦う、必ず定跡手順を身に付けよう 3. 角道を開け、▲7七銀・7八金がポイント 4. 攻めは、飛車先の歩を伸ばし、銀の出勤 5. 矢倉の戦いは、持久戦を得意とする人向きで、常に小さい駒から戦闘開始する <p>◎『読み』が分かれば将棋が2倍楽しい…『3～7手詰』の問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…礼儀正しく、マナーを守って、考えて指す</p>
<p>●級位認定大会</p>	<p>◎級位認定大会</p>
Bクラス	Cクラス
<p>◎将棋の対局においては、駒の損得が勝敗を決める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 駒の価値について、歩・香・桂・銀・金・角・飛の順番に高い駒 2. 駒得とは、相手の『高い駒』と自分の『安い駒』との交換をすること【戦力アップ】 3. 目指せ、相手の駒のタダ取り、そして自分の駒はタダ取りさせるな 4. 駒損は相手に駒を奪われて、自分の戦力が落ちることで、これは避けたい <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…負けて覚える将棋が身に付く</p> <p>◎プロ棋士による将棋教室&八戸子ども教室と交流会</p> <p>八戸子ども教室の生徒を迎えて、親睦交流を図り、プロの先生に教わる</p>	<p>◎将棋の基本…将棋盤と駒・駒台、そして相手がいればゲームが出来る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 将棋盤には縦・横9つ、合計81のマス目があり、ここが戦いの場となる 2. 駒は8種類、一人が20枚ずつ、二人合わせて40枚の駒を互いに順番に指す 3. 振り駒で『先手』『後手』を決める 4. 先に『王・玉』を詰めた方が勝ち 5. マス目に駒をキチンと正しく指すことが、特に大事 <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』の優しい問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…勝てば楽しく、負けても身に付く</p> <p>◎プロ棋士による将棋教室&八戸子ども教室と交流会</p> <p>八戸子ども教室の生徒を迎えて、親睦交流を図り、プロの先生に教わる</p>
<p>◎駒の生かした使い方…形勢を良くする指し手</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取った駒は持駒になり、好きな所で飛えるので、有効に使う 2. 駒は成ると働きがパワーアップする、飛・角は『竜』『馬』に、歩はと金に変身 3. 駒をタダで取れない為に、駒にヒモを付けることは大切 4. 小さい駒から攻める、これは将棋の基本 5. 遊び駒を作らない、盤上の戦いに直接参加していない駒のことで、遊び駒があると形勢が良くなる <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…負けて覚える将棋が身に付く</p>	<p>◎将棋の基本…将棋盤と駒と駒台が将棋の用具</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 8種類の駒はそれぞれ、動きが異なり、成れる駒・成れない駒がある 2. 駒の並べ方は(大橋流)で並べる 3. 盤のマス目には『符号』があり、駒の動きを『符号』で表す 4. 駒台は取った駒を置く所(持駒) 5. 『初形』はスタートの局面、キチンと並べる <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』の優しい問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…勝てば楽しく、負けても身に付く</p>
<p>◎将棋のルールを確認する、気を付けよう禁じ手を指すと負けになる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二歩の禁止 2. 行き場のない駒(桂香歩の特殊なルール) 3. 打ち歩詰めの禁止 4. 連続王手の千日手(同じ手順の繰り返し、進行しない) 5. 『待った』の禁止 6. 二手指しの禁止 7. 駒の飛び越しの禁止 8. 王手の放置の禁止 9. 見逃しなど <p>☞指す時は『ウツカリ』に注意、反則を誘うような行動は取らない</p> <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『3～5手詰』問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…負けて覚える将棋が身に付く</p>	<p>◎将棋の基本…対局を進めることを『将棋を指す』と言い、考えることを『読む』と言う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 駒を取ったり、取られたり 2. 取った駒は持駒になり、打つことが出来る 3. 相手の陣では成ることが出来る 4. 駒が成ると駒の働きが変わり、駒の呼び方も変わる、但し成らずに敵陣に入ることも出来る 5. 『千日手』と『持将棋』 <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』の優しい問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…勝てば楽しく、負けても身に付く</p>
<p>◎勝敗の決着は詰めることにあり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 終盤では、玉の攻めと守りが最優先 2. 『王手』『詰める』『読み』の違いを知る 3. 王手には…『玉をかかわす』『合駒をする』『逆王手を掛ける』などがある 4. 詰ますには…『駒を指し詰ます』『駒を打って詰ます』『駒を成って詰ます』 5. 詰む時には詰ます、詰みのない時は必至・詰めろを掛ける <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『3～5手詰』問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…負けて覚える将棋が身に付く</p> <p>◎級位認定大会</p>	<p>◎将棋の基本…『反則・禁じ手』☞将棋には、やってはいけないことがある</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行き場のない駒を指す・打つことは禁止 2. 二歩の禁止 3. 『待った』の禁止 4. 連続王手の千日手の禁止 5. 打ち歩詰めの禁止 6. その他の禁じ手『二手指し』、『駒の飛び越し』、『筋違いの駒の移動』『王手の放置』、『王手の見逃し』など <p>◎勝ち負けを決める大事な『詰将棋』…『1～3手詰』の優しい問題</p> <p>◎先生と指導対局・生徒同士の対局…勝てば楽しく、負けても身に付く</p> <p>◎級位認定大会</p>

第一期!

4月14日(土)より始めました!



4月28日は佐藤秀司七段の
将棋指導講座!



いま正解教えるから
ちょっと待って



今年から将棋を
はじめました!



ねえねえ
ことえ分かった?



かんがえ中!



第2期将棋教室

<日程>平成30年6月30日・7月7日・7月14日・7月21日・7月28日・8月4日

<内容>

共通講座	Aクラス
<p>●将棋教室の心得</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 礼儀は正しく、挨拶は大きな声ではっきりと 2. 健康第一、生活は規律正しく 3. 将棋盤、駒など道具は大切にしよう 4. 親・先生・教育委員会の人の言うことは守ろう 5. いつも向上心を忘れずに、努力を積み重ねよう 	<p>◎終盤に勝ち切る為に～勝敗は、相手玉を捕まえて詰ますことにあり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手の守り駒、金・銀、特に金を目標に減らせば『詰み』が見えてくる (1) 竜は最強の攻め駒、睨みを利用して金を減らす (2) 駒の損得よりも大切なことは、守り駒を減らす (3) 上部からの攻めで、金を剥がす (4) 寄せは、守り駒を一枚ずつ剥がすと効果的 (5) 駒損でも、詰みを見極めて決め手にする (6) 守りの金を取り、頭金 <p>★基本は守り駒を剥がして寄せる、詰みがあれば王手を掛ける</p> <p>◎詰将棋…『3～7手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>●将棋の歴史</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 将棋はインド生まれの『チャトランガ』が元祖 2. 日本の現在のような将棋は戦国時代に完成 3. 初代の名人は大橋宗桂 4. 豊臣秀吉は『人間将棋』の元祖、『将棋野試合』を行う 5. 徳川家康は1612年、宗桂に扶持を与えた 6. 八代将軍徳川吉宗は、御城将棋の式日を毎年11月17日と定める <p>これにちなんで、日本将棋連盟は11月17日を『将棋の日』と制定</p>	<p>◎終盤に勝ち切る為に～</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 相手玉を狭いスペースに追い込めば、壁(端)や下段で効率よく捕まえられる (1) 広い場所に逃がさない (2) 攻め駒を近づけて追い込む (3) 小駒で玉を上部に逃がさないように攻める (4) 角の特性を生かした上部脱出の阻止 (5) 竜の横利きを生かして上部脱出の阻止 (6) 逃げ道を封じる、王手を掛けないで縛る (7) 桂馬で逃げ道を押さえる <p>★広い場所ではなく狭い場所へ追い込む、包囲網を狭めることが大切</p> <p>◎詰将棋…『3～7手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>●将棋の駒遊びと将棋かるた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 駒遊び…ハサミ将棋・回り将棋・どうぶつ将棋などでの遊び方 2. 将棋かるた…将棋についての色々な知識が学べる <p>(1)『絵札』と『読み札』で、格言・手筋・ルールが遊びながら覚えらるる</p> <p>(2)礼儀作法・マナーを身につけよう (3)将棋の歴史・文化も学べる</p>	<p>◎詰将棋と駒で遊ぼう…A・B・Cクラス共通学習</p>
<p>●将棋の上達法…将棋大会で気をつけること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対局は、礼儀を重んじて、マナーを守り、真剣に指す 2. 姿勢を正して、キチンと駒を並べ、先手・後手は振り駒で決める <p>『お願いします』と言いつつ、一礼し始める</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 対局中は見苦しいことはしない、『待った』『助言』は禁止 4. 持駒を隠したりしない 5. 負けた時には『負けました』と言い、相手に投了を告げる 6. 最後に双方『ありがとうございました』と、お互いに健闘を称えよう 	<p>◎終盤に勝ち切る為に～</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 良い王手と悪い王手を見極める、王手で悪くなる時もあるので注意する (1) 詰みがあれば『詰ます』これが第一 (2) 直接王手で悪くなる時は、じっと包囲する (3) 戦力不足の時は、駒の補充に努める (4) 一間竜は竜の力を最大限に生かす手筋 (5) 上からの一間竜は、金や成り駒が相性の良い攻め駒 (6) 一間竜の送りの手筋 <p>★詰み筋を覚えて王手を掛けたほうが良いのか、逃がす王手なのかは、よく考える</p> <p>●1. 詰みがあれば詰ます 2. 必至を掛ける 3. 寄せを目指す、詰めろを掛ける</p> <p>◎詰将棋…『3～7手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>●全国将棋祭りについて</p> <p>期日:平成30年8月25～26日 場所:イオンモール下田、みなく館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イオンモールを会場に『子ども人間将棋』が開催 2. 倉敷藤花戦おいらせ対局…女流プロ棋士の公式戦(みなく館・和室) 3. プロ棋士による指導対局…みなく館ロビー 4. 大山十五世名人杯争奪将棋大会 5. 大判将棋かるた取り大会…芝生 6. 詰将棋クイズなど 	<p>◎終盤に勝ち切る為に～</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. それぞれの場面で効果的な攻めの判断はどうするのか (1) 詰める為の戦力(駒の配置・持駒)が十分か状況判断 (2) 駒を取るべきか(駒得)、大駒を逃げるべきか考える (3) 駒得と駒の動きのどちらを優先するか、攻めの速度なら駒の動きを、ゆっくりなら駒得を優先する (4) 攻めるか逃げるか、自玉の危険度も見て(角を渡したら、自玉が詰まされる)判断する <p>★より良い手はないか、考えることが上達に繋がる</p> <p>◎詰将棋…『3～7手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>●級位認定大会</p>	<p>◎級位認定大会</p>
Bクラス	Cクラス
<p>◎戦いを有利に進められるか否かは、駒たちの活躍にかかっている</p> <p>◎将棋の基本手筋、8種類の駒のうち、最も数の多い『歩』の使い方を学ぼう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩で相手の隙を突く…駒得しながら有利に進められる 2. 飛先の歩を切る…二歩を解消して、敵陣突破に成功 3. 銀を歩で叩く、と金を作る手筋 4. 歩の連打で破る、数の攻めがある 5. 『と金』の活用をする、駒得も大切だが飛や角の活躍で動かすこともある <p>◎詰将棋…『1～3手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>	<p>◎駒の働き『歩』…歩は自分が9枚、相手が9枚、合計18枚使う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『歩』は一つずつ前進、『歩』は弱い駒だが、成れば『と金』に変身、大活躍する 2. 目の前の駒を取る 3. 歩の手筋…『突き捨ての歩』、『タタキの歩』 4. 受け守りの『歩』 5. 守りの『底歩』も覚えておくと役立つ(金底の『歩』) <p>◎詰将棋…楽しく詰めてみよう『1～3手詰』★繰り返し、解くのがポイント</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>◎将棋の基本手筋、『歩』の使い方を学ぼう</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 歩の連打で受ける、飛を封じ込める、相手の『と金』作りを『歩』で受ける 7. 焦点の歩で攻める…『打ち捨ての歩』相手はどの駒で取っても損をする 8. 垂れ歩で崩す、受けない相手に巧手…叩くとチャンスを出す 9. 三段目に垂らす、歩成りが受からない…先に受けておけば防げた <p>◎詰将棋…『1～3手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>	<p>◎駒の働き『香』と『桂』の駒の使い方を覚えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 香は、真つ直ぐならどこまでも進める、離れている駒を取れる、下段の香 2. 香は端で活躍する(玉・角や桂が端に来た時) 3. 田楽刺し 4. 守りに大切な駒 5. 桂は駒を飛び越えて動けるのが特徴 6. 桂馬の高跳び玉の餌食に注意する 7. 『両取りの桂』 8. 『つなぎの桂』 9. 不成の桂 10. 玉に近い桂・香は守備の役割 <p>◎詰将棋…楽しく詰めてみよう『1～3手詰』★繰り返し、解くのがポイント</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>◎将棋盤と駒で遊ぼう…A・B・Cクラス共通学習</p>	<p>◎将棋盤と駒で遊ぼう…A・B・Cクラス共通学習</p>
<p>◎将棋の基本手筋、『香』、『桂』、『銀』の使い方を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『田楽刺し』で王手飛車取りの手筋、これが香の最大の使い得 2. 下段の『香』を上手く使う…相手が歩切れや歩を使えない時がチャンス 3. 『桂』を100%生かす桂馬の両取り 4. 『吊るし桂』の手筋で詰ませる 5. 『銀』の手筋は斜めに攻める…『飛車と金の両取りを狙う』 6. 腹銀・尻銀の筋も有効、銀を掛ける位置で能力を活用する 7. 強力『棒銀』の攻めを知っているだけで、将棋が十分に楽しめる <p>◎詰将棋…『1～3手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>	<p>◎駒の働き『銀』と『金』の駒の使い方を覚えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 銀は前線に繰り出して活躍するのに適した駒、銀で攻めて敵陣突破 (1) 攻めの銀交換は得 (2) 『両取りの銀』、『割り打ちの銀』 (3) 『桂頭を守る銀』 (4) 玉の腹に銀を打って攻める (5) 金と銀は名コンビ (6) 金と銀の違いを知ろう 2. 玉の近くにいる金は守りに適した駒、金は下段にいた方が強い (1) 『両取りの金』 (2) 詰めに必要な金『頭金』で詰ます、『腹金』『尻金』で詰ます (3) 飛と連携して、『送りの金』も覚える (4) 金は斜め後ろが弱いので注意する <p>◎詰将棋…楽しく詰めてみよう『1～3手詰』★繰り返し、解くのがポイント</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p>
<p>◎将棋の基本手筋、『金』、『角』、『飛』の使い方を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『金』は玉を詰ませる王様…大切なことは、詰みがあるかどうかを考える 2. 詰みがなければ、必至を掛ける 3. 金は受けにも最高の力を発揮する 4. 『角』の長所は斜めに利くこと、『王手飛車取り』がある 5. 『角』の脚の長さが玉を逃がさない…この働きを活用出来れば、将棋が楽しくなる 6. 『飛』は最強の駒で攻め込む…縦横自由に走り回る高い能力を生かす 7. 『飛』の成る場所を選ぶ…一段目、二段目、三段目が良いのか考える 8. 『飛』のパワーで寄せる…王手を早まらない、玉の逃げ道を封じるように攻める <p>◎詰将棋…『1～3手詰』</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p> <p>◎級位認定大会</p>	<p>◎大駒(角と飛)は序盤では単独で動き回っても効果が薄い、小駒と協力が大切</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 角行…(1)角は離して打て (2)遠見の角で攻める (3)王手飛車取りを掛ける (4)馬は守りに 2. 飛車…(1)飛は離して打つ (2)二枚飛車 (3)両取りの飛車 (4)竜は敵陣で大活躍 <p>◎詰将棋…楽しく詰めてみよう『1～3手詰』★繰り返し、解くのがポイント</p> <p>◎対局…先生と指導対局・生徒同士の真剣勝負</p> <p>◎級位認定大会</p>

第二期!

お?なんだ?
わかるか?



これはねえ

7月14日は
まわり将棋で遊びました!

次はこの問題



ああっ...
わかったあやっただぜ...



詰みがみえる!



Aクラス
指導対局!



第3期将棋教室

<日程>平成30年9月8日・9月22日・10月13日・10月27日・11月3日・11月10日

<内容>

共通講座	Aクラス
<p>■将棋は礼儀正しく勝負する…マナーを守り、楽しく、実力アップ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上手(自分より上手い人)は王将、下手は玉将を使う 2. 並べる時は大橋流 3. 先手・後手は振り駒で決める 4. 始めに『お願いします』は大切 5. 『待った』はしない 6. 負けたら『負けました』も大切 7. 『助言』はしない 8. 駒はマス目の中にキチンと、持駒は駒台に置く 9. 相手の駒には取る時以外は触れない 10. 勝負が決まり、感想戦が終わったら『ありがとうございました』と一礼する 	<p>◎将棋の格言は役に立つ…(1)序盤戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 飛車先交換3つの得あり…飛車先の歩は切れる時に切る 2. 玉飛接近すべからず…飛の位置は戦場になりやすいので、玉を遠ざけておく 3. 歩越し銀には歩で対抗…歩を並べて、突き違いの手筋を狙う 4. 攻めは飛車角銀桂、守りは金銀3枚…駒組の時、攻守ともに過不足なくバランスが取れて美しい形 <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生と指導将棋・生徒同士の対局</p>
<p>■将棋の楽しさは『指し手』を読むことにある</p> <p>◇『将棋を指す』というが、駒を指で動かすので、『指す』と言う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有利な形を作る為に、ねらいを込めて考えて指す 2. 駒の動きを考えて読む 3. 相手の手と自分の手を次々と読んでいく『3手の読み』が基本となる 4. 自分が有利に戦いを進める局面を実現させる手を考える 5. すぐ指さないで、ミスをしないように確認する、最後の見落としが負けに繋がる 	<p>◎将棋の格言は役に立つ…(2)中盤戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三歩持ったらツギ歩にタレ歩…歩だけで大きな戦果をあげる 2. 桂頭の銀定跡なり…桂馬の動きをピタリとマーク出来る 3. 竜は敵陣・馬は自陣に…馬は攻防に威力あり、竜は敵陣で一間竜など活躍 4. 金底の歩は岩より固い…飛の攻めを遅らせる効果あり 5. 焦点に好手あり…沢山の駒が利いている地点を焦点という <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生と指導将棋・生徒同士の対局</p>
<p>■おいらせ町は将棋の町</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 故大山十五世名人の偉大な業績を知る (1)昭和時代の巨匠…生い立ちとプロフィール 2. おいらせ町『大山将棋記念館』は町民の宝物 (1)大山名人ゆかりの貴重な将棋資料を展示している、大山康晴を通じて将棋の奥深さ、面白さを体感することが出来る 全国から将棋ファンが見学に来る 	<p>◎将棋の格言は役に立つ…(3)終盤戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 終盤は駒の損得よりも速度…敵玉に迫るのが優先される 2. 玉は下段に落とせ…玉は下段に落とす方が寄せやすい 3. 玉の腹から銀を打て…敵玉を受けなしに追い込む 4. 端玉には端歩…敵玉が端に逃げたら、端歩を突いて迫るのが厳しい 5. 金はとどめに残せ…金をとどめに残すのが、寄せ、詰みのテクニク <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生と指導将棋・生徒同士の対局</p>
<p>■第10回小学生学年別将棋大会</p>	<p>◎第10回小学生学年別将棋大会</p>
<p>■将棋必勝…対局は、これさえ気をつければ大丈夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 礼儀とマナー、ルールを守る 2. 序盤⇒中盤⇒終盤⇒詰みの繋がりが有る 3. 指し手には意味がある 4. 目的を持って指せば楽しい 5. 『ヒモを付ける』取られても取り返せる…とても大切 6. 駒をタダで取られない 7. 駒をタダで取る…大切 8. 駒の価値を知る、歩・香・桂・銀・金・角・飛の順 9. 駒得をする⇒相手の見落としは、見逃がさないで決めることが大切 10. 相手の狙いを見破ることが勝ちに結びつく 	<p>◎将棋の格言は役に立つ…(4)詰めの戦い(詰将棋は考えて解ければ楽しい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 敵の打ちたい所に打て…敵が駒を打ちたがっている場所に先着して打たせない 2. 大駒は近づけて受けよ…飛車・角は遠くから睨みを利かせる駒、接近戦には弱い 3. 両取り逃げるべからず…相手の言いなりにならず、何か他に手が無いかと考える 4. 玉の早逃げ8手の得あり…王手をかけられる前に逃げておくのが、玉の早逃げ 5. 一歩千金…歩のない将棋は負け将棋、一歩あるかないかが重要 <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生と指導将棋・生徒同士の対局</p>
<p>■級位認定大会</p>	<p>◎級位認定大会</p>
Bクラス	Cクラス
<p>【一手一手に知恵を絞る】</p> <p>◎将棋の序盤・中盤・終盤の流れを知り、戦い方を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序盤…(1)初手 (2)王様を囲う (3)駒組が完成するまで <p>★『攻め駒は攻めの態勢を作り、受け駒は玉の守り』攻めの駒、飛・角を活躍させる</p> <p>★玉の囲いが完成、駒と駒がぶつかり、相手の陣を飛合合うこと</p> <p>★自分の遊び駒をなくし、相手の弱点を見つけ、そこから攻め込む</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 終盤…攻め駒が玉に向かっていけば終盤、玉を追い詰める手が優先される <p>★白玉が詰まされる前に相手玉を詰ます、速度が重要、自玉の安全確認</p> <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生との指導将棋・生徒同士の対局</p>	<p>◎各駒の動き方を覚えたら、次はどう指せば駒の動きが良くなるかを覚えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『味方の駒をタダで取られる』…これが一番ダメ 2. 『相手の駒をタダで取る』…大戦果、見逃さないよう相手の指し手をよく見る 3. タダで取られない方法…相手の駒の動きを考える (1)取られそうな駒を逃げる (2)駒を取られても取り返す『ヒモ』を付けておく (3)飛車、角、香の利き道を止める合駒をする <p>◎優しい詰将棋 ◎対局はルールを守って、沢山指そう</p>
<p>◎将棋の序盤…相手の動きをよく見て、自分に有利な作戦確保に努める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最初は駒組をして戦いに備えることが大切 (1)飛車と角の大駒の動きを考える 2. 中盤…玉の囲いが美濃囲いを決め、指す手順は正しく駒を配置していく 2. 駒を好位置に運ぶには正しい指し手が大切 (1)『攻めの駒は攻めの好位置に』 (2)『守りの駒は受けの好位置に』指し進める (3)序盤は角が重要 <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生との指導将棋・生徒同士の対局</p>	<p>◎各駒の動き方を覚えたら、次はどう指せば駒の動きが良くなるかを覚えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手の駒と味方の駒を取り合う (1)同じ駒を取り合う『損得なし』(2)違う駒の取り合いは『損得あり』 2. 駒交換で駒得すれば、戦いやすい⇒タダで駒を取らせない、次は駒損しない (1)味方の価値の高い駒と、相手の価値の低い駒の交換は駒損となる(飛⇒歩) (2)駒得すれば戦力アップになる (3)自分から駒損はしない 3. 相手の陣地に入った駒は成ることが出来、動きが大幅アップする <p>◎優しい詰将棋 ◎対局はルールを守って、沢山指そう</p>
<p>◎将棋の中盤…相手の陣形を崩す、攻防戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 攻めと受けを見極める (1)相手の駒をタダ取り出来ないか (2)自分の駒がタダ取りされないか確認する (3)自分の駒で遊んでいる駒はないか、あれば活用を図る 2. 敵陣を破るには、狙った場所を相手より多い駒で攻める 3. 攻めの基本 (1)『数で上回る』(2)『歩で切り込む』(3)『一番小さい駒から順番に』 <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生との指導将棋・生徒同士の対局</p>	<p>◎各駒の動き方を覚えたら、次はどう指せば駒の動きが良くなるかを覚えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 攻撃の大將は飛車…飛車は縦横に大きく動けるので、攻撃には欠かせない (1)飛車の位置により、居飛車戦法・振り飛車戦法となる 2. 飛車は敵陣で使うのが理想 (3)両取りなど、縦横の大きな動きを利用する 2. 角は大きな動きがあり、破壊力も強いので、自分と相手の角の動きに注意する (1)角の上手い使い方は『ここに動けば、次はここにも動けるようになる』 先を読むこと (2)くの字に角を使う…両取り(王手飛車取り) (3)隙間を狙って遠くから覗く <p>◎優しい詰将棋 ◎対局はルールを守って、沢山指そう</p>
<p>◎第10回小学生学年別将棋大会</p>	<p>◎第10回小学生学年別将棋大会</p>
<p>◎将棋の終盤…詰みそうなのに王手で追い掛け回すより、どの手が詰めるか考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 寄せを目指す終盤戦…駒が玉に向かっていくなると終盤 2. 相手の玉を詰めるのが最優先、即詰めがある時は駒損しても詰め上げる 3. 寄せの考え方…(1)玉を狭い方に追い込む (2)駒の損得よりも詰めるスピード (3)敵玉の守り駒を狙う (4)寄せは普通の手で確実に玉を追い込む <p>◎楽しい詰将棋 ◎対局…先生との指導将棋・生徒同士の対局</p>	<p>◎将棋には『棋譜』という、戦いの記録を残す記号がある、勉強には欠かせない</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 将棋盤のマス目の場所は符号で表す、筋(ヨコの数字)段(タテの漢数字) 2. 駒を符号で書く時は、駒1文字で書く(玉・王・飛・角・金・銀・桂・香・歩) 3. ▲は先手、△は後手を表す、これを『指し手』という 4. 先手後手は振り駒で決める、王は上手・先生が持ち、玉は下手・生徒が持つ 5. 棋譜の書き方▲7六歩・△8四歩などと書く <p>◎優しい詰将棋 ◎対局はルールを守って、沢山指そう</p>
<p>◎級位認定大会</p>	<p>◎級位認定大会</p>

第三期!

5手詰め答えおしえるぞ~



先生ちょっと待って
今頭の中で詰まってるから!



ん? ちょ、え?
この局面は...?



びーす!
いえーい!



これが分かる人は?



はい!

はい!

はい!



王は目上・つよい人が、
玉は年下・よわい人がもつ!
わかったかあ~?

駒の動き方を
べんきょうちゅう!



先生! わたしたちの
たいせんのせいせきは
どうですか?



第4期将棋教室

<日程>平成30年11月24日・12月8日・12月15日・平成31年1月12日・1月19日・2月2日

<内容>

共通講座	Aクラス
<p>●プロ棋士による将棋教室 村山 慈明(むらやま やすあき)七段 ○第38期 新人王 ○第65回 NHK杯選手権 優勝</p>	<p>◎プロ棋士による将棋教室(村山慈明七段) ◎指導将棋 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>●将棋道の礼儀作法 1. 将棋教室の心得 5つの心得を守る 2. 将棋教室の注意事項 3. 将棋は勉強に役立つ</p>	<p>◎盤全体を見る習慣を身につける 1. 遊び駒をなくして、勝ちを呼び込む (1) 遊び駒とはなんだ (2) 遊び駒の色々 (3) 遊び駒を動かす読みと時機 (4) 遊び駒は作らないのが一番 (5) 駒の重複も遊び駒 ◎詰将棋『3～7手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>●将棋の形勢判断をどうするのか 1. 駒の損得 2. 手番、手得(スピード) 3. 玉の堅さ(守り駒の働き) 4. 遊び駒の有無 5. 攻め駒の働き ★相手とのバランスを考え、判断する</p>	<p>◎盤全体を見る習慣を身につける 2. 遊び駒のポイント (1) 大駒(飛・角)の利き筋を塞いでいる味方の駒 (2) 遊んでいる駒は早く解消する (3) 遊び駒は浮き駒になり、狙われる (4) 遊び駒は作らない読みが必要 ◎詰将棋『3～7手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>●将棋は日本の伝統文化 1. 将棋の歴史 世界のゲームと日本将棋の違い 2. 江戸時代に大発展する 将棋の家元・名人・御城将棋の式日</p>	<p>◎盤面全体を見る習慣を身につける 3. 駒を生かす、次の手を考える (1) 手番を生かす—先手の得を効果的に使う (2) 持駒を上手に生かす、盤上の駒と持駒では違う (3) 駒得の得を有効利用する ◎詰将棋『3～7手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>●(おいらせ町は)将棋の町 1. 全国将棋祭りについて 2. 大山将棋記念館(王将館) 3. 青森おいらせ支部の役割について</p>	<p>◎盤面全体を見る習慣を身につける 4. 無駄な手は指さない (1) 手損をする無駄な手(相手が手得をする)は後手を引く (2) お手伝いの手(相手に調子つかせる) (3) 無駄な攻め (4) 無駄な合駒 (5) 無駄な受け ◎詰将棋『3～7手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>●級位認定大会 ●年間表彰 ●平成30年度閉講式</p>	<p>◎級位認定大会及び年間表彰</p>
Bクラス	Cクラス
<p>◎プロ棋士による将棋教室(村山慈明七段) ◎楽しい詰将棋『3～5手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>	<p>◎プロ棋士による将棋教室(村山慈明七段) ◎楽しい詰将棋『1～3手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>◎序盤戦を攻防で有利に進める 1. 攻めるポイント (1) 大駒(飛・角)を動かせる工夫 (2) 居飛車で戦うのか、振り飛車にするのか決める (3) 歩から攻め込む (4) 攻め駒を増やす(数の攻め) 2. 守るポイント (1) 角頭の歩は絶対守る ◎楽しい詰将棋『3～5手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>	<p>◎駒の連携、協力が大切 駒をタダで取られて損をすると大変、駒にヒモがついていることは大切 1. 駒同士、連携のない駒 2. 連携のある駒 3. 互いに連携のある駒 4. 駒を取られても、取り返しができる ◎楽しい詰将棋『1～3手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>◎玉の囲い方の基本を覚える 1. 矢倉囲い、美濃囲いを完成させる 2. 玉と飛車は離しておく 3. 囲いは金銀3枚で守る 4. 玉は1段目より2段目に囲う ◎楽しい詰将棋『3～5手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>	<p>◎駒の連携、協力が大切 1. 攻めの連携が大切=駒の配置を考え、協力して大効果 2. 守りの連携が大切=玉と金銀の連携がないと玉が危ない 3. 詰めの連携が大切=単独の駒は詰められない、手がかりが大切 ◎楽しい詰将棋『1～3手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>◎終盤での王手の防ぎ方、最後まで諦めない 1. 玉を移動して逃げる 2. 王手を掛けている駒を取る 3. 合駒をして王手を止める 4. 玉を動かす時は、相手の駒の利きに注意する ◎楽しい詰将棋『3～5手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>	<p>◎玉の囲いと駒の連携 1. 金の連携がある玉は安全 2. 玉が移動して、金銀と連携するとベスト 3. 矢倉囲い・美濃囲いの金銀の囲いは完璧 ◎楽しい詰将棋『1～3手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>◎得意戦法を持っていると戦いが楽しくなる 1. 居飛車・棒銀戦法 飛車先の歩を進め、銀が続き、攻めの戦い 2. 振り飛車・四間飛車戦法 飛車を四間に振って、玉を美濃囲いに囲う、守りの戦い ◎楽しい詰将棋『3～5手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>	<p>◎攻めの連携は、相手の離れ駒を狙うとおもしろい 1. 飛車と銀と歩の連携で相手を破る 2. 飛と歩で得する手 3. 練習問題 ◎楽しい詰将棋『1～3手詰』 ◎先生との指導対局、生徒同士の対局</p>
<p>◎級位認定大会及び年間表彰</p>	<p>◎級位認定大会及び年間表彰</p>

おいしょっ!

🏠 第四期! 🏠

真剣勝負!



これは
こまったぞ~



めわ~
どう攻めよう!?



1月12日は
新春リレー将棋



11月24日は
村山慈明七段の指導対局



ピース!



指導対局の
あいまに📷

A クラス

講師：小笠原 一男 先生



藤井聡太七段(H31, 1, 31 現在)の登場で、将棋に対する世間の目が好意的になり、将棋の素晴らしさが広く認知されるようになりました。そして、将棋をするようになって学習態度が良くなった、勉強が出来るようになった、人間的にも成長することが出来たという子どもの姿が、私の身近でも見られるようになりました。子どもの心の栄養となり、考える力を伸ばす将棋の素晴らしさをもっと多くの子どもに実感させたいと思っています。

さて、Aクラスの子ども達は全員初段を目指しています。初段を取る為には、詰将棋を欠かさない、次の一手の問題を解くなどの努力の積み重ねが必要です。Aクラスの子ども達が、一人でも多く初段を取って欲しいと願っています。



B クラス

講師：高橋 正道 先生

Bクラスで学ぶこと

皆さんは、Cクラスで将棋の基本、駒の並べ方、挨拶の仕方、対局の態度など身につけてBクラスに昇級してきました。これから先は、駒の働きを利かして、駒の損得、戦い方の戦法、守りを固める玉の囲い方を見ることが大切です。覚えるコツは、簡単な将棋の用語・手筋・格言などを通して勉強することです。それは、対局を沢山経験して得ることが大事です。最後の勝負どころでは、普段から寄せや詰将棋の時間を多く持ち、繰り返すガンバリが実を結びます。将棋の時間を大切にして、棋力の向上を図り、成績が上がれば、Aクラスに昇級することが出来ます。ガンバロー！！



C クラス

講師：成田 幸男 先生

将棋熱が高まりつつある現在、『将棋を覚えたい』と多くの入会者が集まり勉強をしています。多くの子どもは、駒の正しい動き方やその特徴を学んでいますが、中にはある程度分かっている、もっと強くなりたいと思って入ってきた人もいます。教えた事を真面目に聞いていれば、何かが身につく大きな役立ちます。

私はコミュニケーションを大事にしています。与えられた問題に子供達が理解出来たか、一人一人に話を聞いて、不十分な人には再度説明をし、全員が納得した時に次の問題に進むようにしています。この様に教室で教わった事は、その日のうちに覚える事が大事で、その為には先生が話をしている時によそ見をしたり、友達と話をしていると何の為に教室に来たのか意味がないのです。『真面目』に話を聞いている人は覚えも早く、将棋の見方も変わり、短い期間でBクラスにいける能力も身につけていると思います。

私は一日でも早くBクラスにいける子が多くなるように教えますので、皆さんも努力を積み重ねて頑張りましょう。



♡ 心に残ったこと

Aクラス



百石小6年
白山 理聖くん

いままでほとんど居飛車しかやってきませんでしたが、三間飛車も指せるようになり、戦法を増やすことができて良かったです。中学校に行っても、将棋の大会には出たいです。約5年間ありがとうございました。



百石小6年
大山 潤弥くん

Aクラスでのつめしょうぎやたいきょくをがんばった。目標は級を上げること。



百石小6年
田嶋 心優さん

小学校最後の大会で2位になったのでよかったです。中学生になると忙しくなり、将棋をやることは減るので一手一手を大切にしたいです。



百石小4年
藤ヶ森 悟志くん

ぼくは、今年一年間がんばったことはたいきょくです。なぜかという、ぼくは今年BクラスからAクラスになりました。Bクラスの時はいきよくでたくさん勝ったからです。Aクラスでもたくさん勝てるようにがんばりたいです。



多賀台小5年
大石 陽士くん

つめしょうぎをして強くなりたいです。



木崎野小5年
戸舘 廉くん

今までの経験でかなり強くなったと思いました。詰将棋や戦法を覚えて戦いで活用してみると勝ったりしうれしかったです。負けた時はとてもやさしかったです。今年はいろいろな人と戦って強くなれたし、あまり勝てない人にはだんだんと勝てるようになったのでとても良い一年になったと思いました。



多賀台小5年
小向 遥人くん

1級をめざしたいです。あともっと強くなりたいです。



木内小4年
田茂 宗一郎くん

今年是将棋教室の先生に勝つという目標を立てて頑張りました。目標は達成できませんでしたが、時間切れでおしかった部分があったので来年はぜひ先生に勝ちたいです。そのためにたくさん練習をし、強くなりたいと思います。



木ノ下小3年
竹内 涼成くん

上級生をめざしてがんばりたいです。



木崎野小4年
秋田 真之介くん

今年、BクラスからAクラスに上がりました。2年でAクラスに行けたのでうれしかったです。Aクラスになると勝ち数が少なくなったけど、良い事を学べたのでよかったです。ぼくは守るのが苦手なのでそこをみがいて強くなりたいです。



心に残ったこと

Bクラス



百石小3年

川崎 太雅くん

負けたりかったりしたけど、これからはぜんぶかつようにならなりたいです。



甲洋小2年

佐々木 隆之介くん

しょうぎきょうしつでまあまあつよくなれたのでよかったです。しかも、しょうぎきょうしつで1回いじょうかてたのですごかったです。



甲洋小2年

石川 詩菜さん

いっぱいかったことと、もっといっばいかるようにすることです。つよくなりたいです。



木ノ下小2年

ヨキネン 慶くん

ぼくは今年なり田せんせいにかつとこでまけたので、これからはちゃんとはなしをきいて、もっとしょうぎをつよくなってかちたいです。



木ノ下小2年

佐藤 和弥くん

くらしき王しょうせんにいきたいかいでゆうしょうできてうれしかったです。



甲洋小4年

石川 航希くん

これからの目標は5級を目指してがんばります。



木内々小4年

和田 結翔くん

先生の話を聞くのをがんばった。つめしょうぎをやって、つよくなる。



木ノ下小2年

折原 幹太くん

Aクラスになりたいです。たのしかったです。



木ノ下小2年

猪股 莉伶宙くん

ぼくは3手づめがにが手だったけど、今はもうかんたんで5手づめもやっています。来年は、Aクラスになりたいです。

♡心に残ったこと

Cクラス



木内々小2年
小向 利偉斗くん

今年1年間がんばったことは、しょうぎのたいけつです。いろいろな人とたたかえて、よかったです。目ひょうは、もっと強くなっていろいろな人とたたかいたいです。



木内々小1年
小向 悠路くん

しょうぎにきたときははなしをきかなかった。でもはなしをきくようになりました。



木内々小1年
柏崎 祐成くん

がんばってれんしゅうしたけど、ちょっとしかかてなかつたです。これからもっといっぱいれんしゅうして、いっぱいよくなりたいです。



甲洋小2年
玉手 雄琉くん

Aクラスに入って1きゆうになりたいです。



百石小1年
佐々木 吉秀くん

人げんしょうぎがたのしかったので、またさんかしたいです。



川口保育園年中
佐々木 智香さん

たいかいで、どうメダルをもらってうれしかったです。



木ノ下小2年
工藤 大和くん

まえよりもつよくなれました。だからうれしいです。



木ノ下小4年
野澤 麻妃さん

私のこれからの目標は、もっとしょうぎ教室になれて、しょうぎを楽しみたいきよくしようと思っています。



木ノ下小1年
野澤 杏莉さん

せんせいとしょうぎをまなでたいけつしてやったことです。こんどしょうぎでせんせいにまけないようがんばります。



木ノ下小1年
竹内 啓祥くん

がくねんべつしょうぎたいかいで、ゆうしょうしたことがうれしかったです。

♡ Cクラス



木内 小3年

田茂 小葉春さん

わたしは、はじめてしょうぎ教室にはいりました。やってみたらむずかしかったです。でもすこしだけできるようになりました。なので、つぎのしょうぎ教室でもまけないで、もしまけたってそれがどりよくすることだからがんばりたいです。四年生になってもしょうぎをがんばります。



百石小1年

中林 清瑠くん

ぼくはしょうぎ大かいで、じゅんゆうしょうしたことがうれしかったです。いっぱいれんしゅうして、こんどはゆうしょうしたいです。



百石小2年

田嶋 羽稀さん

初めての大会で二位になってうれしかったです。もっと練習をして1位になりたいです。



木ノ下小2年

堀内 遼人くん

1きゆうになってだれにでもかてるようになりたいです。



百石小1年

川口 凜之助くん

これから強くなってみんなにかちたいです。



木ノ下小2年

浜 和士くん

1きゆうまでぜったい上がる。それまで、ぜったいしょうぎ教室をやめない。



百石小1年

川口 蓮士くん

もっとつよくなる。



FLC三沢年長

藤原 英縁くん

将棋を通じて、心技礼を身に付けます。一戦でも多く勝てるように努力します。



木内 小2年

原本 千瑛さん

これからの目標は、りいとさんにかつことと、来年にはBクラスになることです。

平成30年度 年間表彰・級位認定大会結果

★皆勤賞★

白山 理聖(百石小6年)
佐藤 和弥(木ノ下小2年)

和田 結翔(木内々小4年)

☆精勤賞☆

戸舘 廉(木崎野小5年・23回)
田茂 宗一郎(木内々小4年・23回)
折原 幹太(木ノ下小2年・23回)
小向 悠路(木内々小1年・23回)
大山 潤弥(百石小6年・21回)
竹内 涼成(木ノ下小3年・21回)
川崎 太雅(百石小3年・20回)
工藤 大和(木ノ下小2年・20回)

秋田 真之介(木崎野小4年・23回)
藤ヶ森 悟志(百石小4年・23回)
小向 利偉斗(木内々小2年・23回)
中林 清瑠(百石小1年・22回)
小向 遥人(多賀台小5年・21回)
猪股 莉怜宙(木ノ下小2年・21回)
田茂 小葉春(木内々小3年・20回)
竹内 啓祥(木ノ下小1年・20回)

第1期	Aクラス	Bクラス	Cクラス
優勝	戸舘 廉 木崎野小学校5年	秋田 真之介 木崎野小学校4年	福田 広哉 木ノ下小学校5年
準優勝	田茂 宗一郎 木内々小学校4年	大石 陽士 多賀台小学校5年	佐藤 和弥 木ノ下小学校2年
第3位	白山 理聖 百石小学校6年	竹内 涼成 木ノ下小学校3年	猪股 莉怜宙 木ノ下小学校2年
			ヨキネン 慶 木ノ下小学校2年

第2期	Aクラス	Bクラス	Cクラス
優勝	田茂 宗一郎 木内々小学校4年	竹内 涼成 木ノ下小学校3年	佐藤 和弥 木ノ下小学校2年
準優勝	白山 理聖 百石小学校6年	藤ヶ森 悟志 百石小学校4年	堀内 遼人 木ノ下小学校2年
			和田 結翔 木内々小学校4年
第3位	大山 潤弥 百石小学校6年	小向 遥人 多賀台小学校5年	種市 竜樹 木崎野小学校3年

第3期	Aクラス	Bクラス	Cクラス
優勝	田茂 宗一郎 木内々小学校4年	小向 遥人 多賀台小学校5年	吉本 優弥 百石小学校6年
準優勝	大山 潤弥 百石小学校6年	川崎 太雅 百石小学校3年	中林 清瑠 百石小学校1年
第3位	戸舘 廉 木崎野小学校5年	石川 詩菜 甲洋小学校2年	石川 航希 甲洋小学校4年

第4期	Aクラス	Bクラス	Cクラス
優勝	戸舘 廉 木崎野小学校5年	石川 詩菜 甲洋小学校2年	中林 清瑠 百石小学校1年
		ヨキネン 慶 木ノ下小学校2年	
準優勝	大山 潤弥 百石小学校6年		堀内 遼人 木ノ下小学校2年
第3位	田茂 宗一郎 木内々小学校4年	猪股 莉怜宙 木ノ下小学校2年	佐々木 智香 川口保育園・年中
		佐藤 和弥 木ノ下小学校2年	佐々木 吉秀 百石小学校1年

平成30年度 将棋教室参加人数集計表

【第1期(全6回)】

参加人数	
1回目	24名
2回目	23名
3回目	27名
4回目	28名
5回目	29名
6回目	31名
延べ人数	162名

【第2期(全6回)】

参加人数	
1回目	26名
2回目	27名
3回目	28名
4回目	33名
5回目	25名
6回目	28名
延べ人数	167名

【第3期(全6回)】

参加人数	
1回目	32名
2回目	33名
3回目	35名
4回目	31名
5回目	32名
6回目	24名
延べ人数	187名

【第4期(全6回)】

参加人数	
1回目	38名
2回目	32名
3回目	34名
4回目	29名
5回目	28名
6回目	33名
延べ人数	194名



平成30年度 将棋教室参加者名簿・参加回数

No.	名前	棋力	学校名・学年	参加回数	No.	名前	棋力	学校名・学年	参加回数
1	あきた しんのすけ 秋田 真之介	3級	木崎野・4	23	31	たしま みひろ 田嶋 心優	3級	百石・6	9
2	いしかわ こうき 石川 航希	6級	甲洋・4	10	32	たちばな ふうあ 立花 楓羽晏	10級	上市川・5	1
3	いしかわ しいな 石川 詩菜	6級	甲洋・2	18	33	たねいち たつき 種市 竜樹	6級	木崎野・3	10
4	いのまた りれい 猪股 莉怜宙	6級	木ノ下・2	21	34	たまて たける 玉手 雄琉	6級	甲洋・2	19
5	おおいし はると 大石 陽士	3級	多賀台・5	19	35	たも こはる 田茂 小葉春	8級	木内々・3	20
6	おおやま じゅんや 大山 潤弥	1級	百石・6	21	36	たも そういちろう 田茂 宗一郎	1級	木内々・4	23
7	おくでら めぐみ 奥寺 愛	8級	百石・3	12	37	とだて れん 戸舘 廉	1級	木崎野・5	23
8	おりはら かんた 折原 幹太	6級	木ノ下・2	23	38	なかばやし きよる 中林 清瑠	6級	百石・1	22
9	かしわざき ゆうせい 柏崎 祐成	8級	木内々・1	12	39	なくい しゅんや 名久井 春野	6級	木ノ下・4	9
10	かっち こうや 甲地 康椰		甲地・3	2	40	なごや いつき 名古屋 一樹	10級	甲洋・1	5
11	かわぐち りんのすけ 川口 凜之助		百石・1	3	41	ぬまお りさ 沼尾 里咲	10級	木ノ下・1	11
12	かわぐち れんじ 川口 蓮士	10級	百石・1	5	42	のさわ あさひ 野澤 麻妃	10級	木ノ下・4	4
13	かわさき たいが 川崎 太雅	5級	百石・3	20	43	のさわ あんり 野澤 杏莉	10級	木ノ下・1	4
14	くどう ひなた 工藤 陽	3級	堀口中・1	5	44	はかまだ みお 袴田 美桜		木内々・2	1
15	くどう やまと 工藤 大和	6級	木ノ下・2	20	45	はま かずし 浜 和士	9級	轟木・2	12
16	こむかい はると 小向 遥人	3級	多賀台・5	21	46	はやし れいじ 林 零志	3級	百石・6	2
17	こむかい ゆくろ 小向 悠路	8級	木内々・1	23	47	はらもと ちあき 原本 千瑛	10級	木内々・2	5
18	こむかい りいと 小向 利偉斗	8級	木内々・2	23	48	ふくだ ひろや 福田 広哉	8級	木ノ下・5	3
19	こん はるか 昆 陽日	9級	木ノ下・5	10	49	ふくだ ゆうしん 福田 勇伸	9級	木ノ下・2	4
20	さくらだ りょうた 櫻田 凌大		木内々・5	5	50	ふじがもり きとし 藤ヶ森 悟志	3級	百石・4	23
21	ささき のりか 佐々木 智香	10級	川口保・年中	2	51	ふじわら えにし 藤原 英縁	10級	FLC三沢・年長	2
22	ささき よしひで 佐々木 吉秀	8級	百石・1	13	52	ふたかわめ ゆら 二川 目優空	10級	甲洋・2	3
23	ささき りゅうのすけ 佐々木 隆之介	7級	甲洋・2	17	53	ほりうち はると 堀内 遼人	6級	木ノ下・2	17
24	さとう かずや 佐藤 和弥	6級	木ノ下・2	24	54	むろや たくのぶ 室谷 巧信	6級	木ノ下・3	15
25	さとう たひと 佐藤 太仁	9級	類家保・年中	10	55	ヨキネン いる ヨキネン 慶	6級	木ノ下・2	19
26	しらやま りさと 白山 理聖	1級	百石・6	24	56	よしだ たけし 吉田 孟司	9級	木ノ下・2	4
27	すずき たいが 鈴木 大賀	8級	市川中・2	2	57	よしもと ゆうや 吉本 優弥	6級	百石・6	8
28	たけうち けいしょう 竹内 啓祥	6級	木ノ下・1	20	58	わだ ゆうと 和田 結翔	6級	木内々・4	24
29	たけうち りょうせい 竹内 涼成	4級	木ノ下・3	21					
30	たしま うき 田嶋 羽稀	11級	百石・2	8					

H30年度 大会入賞者一覧

大会名	日付	成績・名前			
文部科学大臣杯予選会 会場: 大山将棋記念館	5月13日	団体	優勝 百石小学校B	大将	林 零志
				副将	松平 稔央
				先鋒	中下 遥仁
			準優勝 百石小学校A	大将	白山 理聖
				副将	田嶋 心優
				先鋒	大山 潤弥
		個人	大将	優勝	林 零志
				優勝	白山 理聖
				優勝	戸舘 廉
			副将	優勝	佐藤 和弥
				第3位	田嶋 心優
				優勝	大山 潤弥
倉敷王将戦特別招待選手選抜将棋大会 会場: 大山将棋記念館	6月10日	低学年の部	優勝	佐藤 和弥	
			準優勝	猪股 莉怜宙	
			第3位	室谷 巧信	
		高学年の部	優勝	田茂 宗一郎	
			準優勝	白山 理聖	
			第3位	大山 潤弥	
大山十五世名人杯争奪将棋大会 会場: みなくる館	8月26日	小学生新人の部	第3位	猪股 莉怜宙	
小学生学年別将棋大会 会場: 大山将棋記念館	10月27日	1年生の部	優勝	竹内 啓祥	
			準優勝	中林 清瑠	
			第3位	佐々木 吉秀	
		2年生の部	優勝	佐藤 和弥	
			準優勝	折原 幹太	
			第3位	猪股 莉怜宙	
		3年生の部	優勝	竹内 涼成	
			準優勝	川崎 太雅	
			第3位	室谷 巧信	
		4年生の部	優勝	田茂 宗一郎	
			準優勝	秋田 真之介	
			第3位	藤ヶ森 悟志	
		5年生の部	優勝	戸舘 廉	
			準優勝	中下 遥仁	
			第3位	大石 陽士	

大会名	日付	成績・名前		
小学生学年別将棋大会 会場: 大山将棋記念館	10月27日	6年生の部	優勝	白山 理聖
			準優勝	大山 潤弥
			第3位	田嶋 心優
県下小・中学生将棋名人戦 会場: みなくる館	11月25日	小学生の部Bクラス	第3位	竹内 涼成
		小学生の部Cクラス	第3位	猪股 莉怜宙
		女子の部	準優勝	田嶋 心優
			第3位	石川 詩菜
			第3位	原本 千瑛
		女子初心者の部	優勝	田茂 小葉春
			準優勝	田嶋 羽稀
			第3位	佐々木 智香
小学生名人戦おいらせ地区予選 会場: 大山将棋記念館	2月3日	県大会出場権獲得	木崎野小 5年	戸舘 廉



北東北将棋選手権大会



文部科学大臣杯予選会



大山名人杯争奪将棋大会



倉敷王将戦予選会(低学年)



倉敷王将戦予選会(高学年)



小学生学年別将棋大会



県下小中将棋名人戦



さなる杯小学生名人戦予選会



三村杯町内職場対抗将棋大会



将棋教室の心得

れいぎ ただ おお こえ
◎礼儀は正しく、あいさつは大きな声ではっきりと。

けんこうだいいち せいかつ きりつただ
◎健康第一、生活は規律正しく。

しょうぎばん こま どうぐ たいせつ
◎将棋盤・駒など、道具を大切にしよう。

おや せんせい きょういくいいんかい ひと い まも
◎親・先生・教育委員会の人言うことは守ろう。

こうじょうしん わす どりよく つ かせ
◎いつも、向上心を忘れずに、努力を積み重ねよう。

平成31年3月
発行元 大山将棋記念館